

平成29年7月28日

関係各位

山口大学共同獣医学部  
獣医微生物学研究室  
教授 前田 健

## SFTS 公開シンポジウムおよび講習会

### 開催趣旨

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) は、2011年に中国で初めて報告された感染症で、国内でも2012年12月に山口県ではじめて分離されたヒトに重篤な疾病を引き起こすマダニ媒介性感染症です。ヒトに発熱、白血球減少、血小板減少、高い死亡率を引き起こすことから、2013年1月に厚生労働省から国内での患者報告がなされた際は世間の注目を集めました。しかし、「昔から存在していた感染症」「マダニにさえ注意していれば大丈夫」という考え方が一般的となり、最近では危機感が薄れ始めているように感じます。

我々は2017年4月にSFTS発症猫の存在を確認し、また、その糞便中からは生きたウイルスが存在することを明らかにしました。これは、伴侶動物のみならず、その治療に当たる獣医師やその間の世話をする動物看護師や飼い主への感染リスクがあることを意味しています。

SFTS治療薬の評価は進みつつありますが、未だ、市場にはあがっておらず、現在は徹底した伴侶動物へのマダニ対策、野山に入る人へのマダニ対策、医師・獣医師への二次感染対策などが求められることとなります。そのため、SFTSの脅威からマダニに咬まれるリスクの高い方、動物の飼い主および医療・獣医療関係者を守るためには、マダニへの徹底した対策が重要になると考え、我々は市民公開シンポジウムならびに医療・獣医療関係者への実地講習会を開催させていただき運びとなりました。つきましては、関係者お誘い合わせの上、ご参加頂けます様お願い申し上げます。

### 記

日時：平成29年 9月29日（金） 13：00～ 公開シンポジウム  
9月30日（土） 9：00～ 実地講習会

### 公開シンポジウム

会場： 山口大学 共通1番教室

参加費用： 無料

事前参加受付： 不要

公開シンポジウム (予定)

13：00 学部長挨拶

13：05 SFTSの現状と感染経路

国立感染症研究所 獣医科学部 部長 森川 茂 先生 講演

13：35 世界初、SFTS発症猫の発見

なぎさ動物病院 獣医師 沖見 朝代先生 講演

13：50 世界初、SFTS発症犬の発見

おおしま動物病院 獣医師 大島 寛彰先生 講演

14：05 野生動物におけるSFTS感染の現状

山口大学共同獣医学部 教授 前田 健 先生 講演

- 14 : 35 休憩 忌避剤、動物薬ブース展示  
15 : 00 マダニ刺咬から身を守るために  
山口大学共同獣医学部 准教授 高野 愛 先生 講演  
15 : 30 パネルディスカッション (動物薬・防ダニ薬関連会社と)  
16 : 00 終了予定

#### 実地講習会

会場： 山口大学 獣医学国際教育研究センター (iCOVER)  
参加費用： 1000 円 (1 名当たり、資料および材料費)  
事前参加受付： 高野まで (8 月 31 日締切)  
詳細は以下参照

#### 実地講習会 (予定)

- 9 : 00 マダニ採集講習 (忌避剤の効果的な使用方法等)  
10 : 00 動物皮膚からの安全なマダニ除去法  
10 : 30 動物血清からの RNA 抽出  
11 : 30 RT-PCR  
12 : 30 昼休憩  
13 : 30 マダニ同定法講習  
15 : 00 RT-PCR 結果観察  
16 : 00 終了予定

#### \*実地講習会申込先・お問い合わせ\*

山口大学共同獣医学部 獣医微生物学研究室 担当：高野

E-mail アドレス：a-takano@yamaguchi-u.ac.jp (@を小文字に変換してください。)

TEL:083-933-5855 / FAX: 083-933-5887

なお、実地講習会への申込多数の場合は、参加をお断りさせて頂く場合があります。また、9 月 1 日以降に実地講習会への参加証を E-mail あるいは FAX にて送付いたします

以上